

025	プリンスメロン(新中型トンネル)
-----	------------------

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	プリンスメロン70a（トンネル40a、ハウス30a）、抑制メロン（ベネチア）30a、秋冬キャベツ40a、水稻200a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		◎ ————— □□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、○トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し $R = (1 - \text{残存割合})$ (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f)×(G)×利率
作業場	木・瓦	40 m ²	2,520,000	20	504,000	504,000	15	33,600	8	235,200	20	1,882
トラクタ	25ps	1 台	3,067,900	12	360,930	360,930	7	51,561	4	154,684	20	1,237
ロータリ	160cm	1 台	440,000	12	51,765	51,765	7	7,395	4	22,185	20	177
管理機	3.7ps	1 台	248,600	29	70,851	70,851	7	10,121	4	30,365	100	1,215
動力噴霧機	6.0ps	1 台	280,390	25	70,098	70,098	7	10,014	4	30,042	100	1,202
運搬車	600L	1 台	583,000	25	145,750	145,750	7	20,822	4	62,464	100	2,499
軽トラック 4WD 5MT	660cc	1 台	1,200,000	12	141,177	141,177	4	35,294	2	70,588	100	2,824
合計			8,339,890		1,344,569	1,344,569		168,807		605,528		11,035

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
メロン	プリンス	新中型トンネル	2,200kg	水田転換畑	40a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準						
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
作業名						機械利 用時間	組 員数	延労働 時 間		
定 植 準 備	12/中	堆 肥 もみ殻	500kg	軽トラック トラクタ	①有機物施用 全面に散布し、耕耘する。	0.5	2	14.0	ガソリン 1.1 軽油 4.0	
			1,000kg			2.0	1			
	2/下	過石 ランカク バイオノ有機S	30kg	人力、運搬車 トラクタ ロータリ	②施肥、作畦 土壌改良材を施用し、耕耘し、畦を 作る。	1.0	2	19.0	ガソリン 4.0 軽油 4.0	
			80kg			2.0	1			
			110kg							
	3/上	ネトリスエース粒剤 クマート乳剤 トンネル支柱 外 〃 内 古ビニール ビニール 外 〃 内	20kg	灌水装置	③マルチ、トンネル 除草剤を散布し、マルチする。 2重トンネル被覆を行い地温を上げ る。 霜の恐れのある場合、古ビニール等 を利用し被覆する。	0.5	1	38.0	軽油 0.5 ガソリン 0.5	
			300cc			0.5	2			
			530本							
			150本							
			400m							
定 植	3/中～下	ポット苗 ダイヤキャップ	560本	人力	①浅植えし、ダイヤキャップをかぶせ ておく。		3	24.0		
			560枚							
	3/下～6/上			人力	①活着したらダイヤキャップを取り除 き内トンネルから順次開閉して適温 に管理する。 ②肥大終了後、ビニールの裾は開放する。		1	55.0		
	3/中～6/中			人力	①親づるは本葉4～5枚で摘心する。 ②子づるは揃った3本を伸ばして誘引 先端はパイプ際で止める。 ③着果孫づるは着果節より先1葉残し て摘心し、着果節のひ孫づるは着果 後早めに除く。		2	65.0		
	3/下～6/中	住友液肥2号 稲わら バイオノ有機S	3.3ℓ 125把	動力噴霧機 灌水装置	①活着の悪い時、樹勢の弱い時は液肥 を灌注する。 ②つるが内トンネルから出るようにな ったら、敷きわらをする。 ③開花5日前ごろに灌水をする。 ④1番果収穫後、追肥をし、かん水す る。	1.0	2	9.0	ガソリン 1.0	
			15kg							
	ホルモン処理 灌水	4/下～5/上	ジベレリン液剤 トマトトーン	20cc 20ml	人力	①子房部散布または塗布する。株当 たり9果を目標とする。 ②着果後灌水する。	1.0	2	25.0	ガソリン 1.0
					灌水装置					
玉直し・摘果	5/上～5/中	マルチシート	3,920枚	人力	①開花後、15日頃シートを敷き、玉 直しをする。不良果は摘果する。		2	14.0		
収穫・出荷	6/上～7/上			人力 軽トラック	①開花後35日前後に果皮色、果梗の 離層、葉の枯れ具合から収穫適期を 判断する。 ②朝収穫し、汚れた果実は布で拭いて 出荷する。	10.0	1	80.0	ガソリン 22.0	
病害虫防除	3/中～6/中	アクタラ粒剤5 バレード20フロアブル	1120g 150ml	人力 動力噴霧機 軽トラック	①定植時、株当たり2gのアクタラ粒 剤を処理する。 ②交配前に菌核病、うどんこ病の 防除を行う。 ③交配後にアブラムシ、ハダニ等の 防除を行う。	13.5	2	27.0	ガソリン 13.5	
後片づけ	7/下	ウララDF モベントフロアブル	150g 150g	人力	①トンネルをかたづける。マルチは回 収する。		2	20.0		
合 計								390.0		

5 経営試算(10a当たり)

区分		科目	金額	説 明
粗収益		主産物価額③	1, 168, 200	生産量①： 2, 200 kg 単価②： 531 円／kg
		主産物価額	0	生産量： kg 単価： 円／kg
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		副産物価額④	0	
		計 (A)	1, 168, 200	
生産費	生産原価	種 苗 費	99, 120	
		肥 料 費	30, 355	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	25, 986	〃
		諸 材 料 費	223, 351	〃
		動力光熱費	11, 116	
		農 具 費	8, 697	機械負担価額× 4 %
		建物等修繕費	1, 260	建物・構築物負担価額× 1 %
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	0	
		雇 用 労 賃	9, 246	
		減価償却費⑤	42, 202	別表のとおり
		土地改良費	4, 375	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	455, 708	
	販売費一般 管理費	出荷資材費	48, 889	
		販 売 諸 費	310, 150	
		諸税負担金	2, 570	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	2, 824	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	1, 648	借入資本利率 2 %
小計 (C)		366, 081		
経 営 費 (D)		821, 789	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧		500, 370	農 従 労 働 時 間： 373.9 生産管理労働時間 11.0 1, 300 円／時間	
支払利子・地代算入生産費(E)		1, 322, 159	主産物単位当たり 601 円／1kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本 利子(F)	流動資本利子⑨	25, 566	注) ⑨= ((E)－⑤－⑦) ／ 2 ×0. 04	
	固定資本利子	2, 759	利率 4 %	
自 作 地 地 代 (G)		2, 450		
全算入生産費 (H)		1, 352, 934	生産物単位当たり 615 円／1kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)		346, 411	時間当たり 900 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)		30	注) (J) = (I) ÷ (A) ×100	
農企業利潤 (K)		-184, 734	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)		315, 636	時間当たり 820 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)		-153, 959	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
定植準備						19.0	38.0																									14.0		71.0			
定植								16.0	8.0																									24.0			
温度管理									6.0	8.0	8.0	7.0	7.0	7.0	3.0	3.0																		49.0			
整枝								1.0	10.0	10.0	20.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																	65.0			
追肥・中耕・灌水・数々									1.0	6.0	2.0																							9.0			
おもん処理・灌水												24.0	1.0																					25.0			
玉直し・摘果													7.0	7.0																				14.0			
収穫・出荷																20.0	30.0	24.0	6.0														80.0				
病虫害防除							2.0	1.0				4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																27.0				
後片づけ																				20.0														20.0			
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	38.0	19.0	26.0	24.0	30.0	39.0	23.0	22.0	11.0	31.0	38.0	24.0	6.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0	384.0			

生産管理労働時間

(11.0)